

acute, keen, sharp の対照意味分析

The Contrastive Semantics of 'acute', 'keen', and 'sharp'

鳥居 孝栄

福島工業高等専門学校一般教科

Kouei Torii

Fukushima National College of Technology, Department of General Education

(2013年8月21日受理)

This paper offers a contrastive analysis of the meanings of 'acute', 'keen', and 'sharp.' The analysis was made based on the descriptions of these words in dictionaries and their actual uses in newspapers and other articles. The results of the analysis show that 'acute' means being sensitive in understanding and thinking or showing a strong degree, emphasizing significance and seriousness, 'keen' means being sensitive in understanding and thinking or showing a strong degree, emphasizing positive interest and eagerness, and 'sharp' means stimulus being direct and strong like a visual stimulus of a pointed or clear shape, or a person being sensitive in understanding and thinking.

Key words: contrastive, sensitive, seriousness, positive, visual

1 はじめに

筆者は、ここ数年英語の類義語の意味分析に取り組んでいる。鳥居(2005)¹⁾では completely, perfectly, thoroughly を、鳥居(2011)²⁾では anxiety, concern, worry を、鳥居(2012)³⁾では flourish, prosper, thrive を、それぞれ分析した。今回は、日本語に訳した場合、同じように「鋭い」の意味になる形容詞 acute, keen, sharp を対象として、意味分析を試みる。

分析の方法はこれまでと同様で、まず辞書・辞典の記述から大きな見通しを立て、次いで実際に収集した用例から分析・考察をさらに推し進めることにする。

2 辞書・辞典の記述

ここでは、辞書の記述から、acute, keen, sharp の意味の違いについて、大きな見通しを立ててみる。参照した辞書は、小学館 Progressive English-Japanese Dictionary (1987)⁴⁾、小学館 Random House English-Japanese Dictionary (1994)⁵⁾、三省堂 The New Global English-Japanese Dictionary (1994)⁶⁾、研究社 New College English-Japanese Dictionary (1994)⁷⁾、大修館 Genius English-Japanese Dictionary (1994)⁸⁾、ベネッセ New Proceed English-Japanese Dictionary (1994)⁹⁾、桐原書店 Longman Dictionary of Contemporary English (1987)¹⁰⁾ の7つである。

まず、辞書の訳語に注目してみた。様々な訳語が与え

られていたが、意味の近いものを一つにまとめていくと、次の20個に分類できた。それぞれに例文を1つずつ付けて示してみよう。

「感覚器官が鋭い」

(1) Dogs have a keen sense of hearing.
(Proceed)

「知性が鋭い」

(2) an acute observer (Global)

「ぬけめない」

(3) He's sharp about money. (College)

「とがった」

(4) The boy liked to keep his pencils sharp.
(Proceed)

「カーブや坂が急な」

(5) The car made a sharp U-turn. (Genius)

「くっきりした」

(6) We saw the sharp outline of mountains against the sky. (Genius)

「光が強い」

(7) The sharp sun struck day after day.
(Random)

「音が甲高い」

(8) Some sounds are so acute that we cannot hear them. (Progressive)

「においが鼻を突く」

- (9) a sharp smell (College)
「味がピリッとした」
- (10) Vinegar has a sharp taste. (Genius)
「寒さが刺すような」
- (11) a keen wind blowing from the east
(Longman)
「痛みが激しい」
- (12) He was attacked by a sharp pain in his stomach.
(Proceed)
「程度・度合いが激しい」
- (13) There's been keen competition for the job.
(Longman)
「相手に対して辛辣な」
- (14) He was rather sharp with his secretary when
she got back late from lunch. (Longman)
「急性の・緊急の」
- (15) The town has an acute need for sewerage.
(Global)
「きびきびした」
- (16) We must be sharp or we'll miss the train.
(College)
「すてきな・すぐれた」
- (17) a keen present (Progressive)
「いきな・しゃれた」
- (18) He's a very sharp dresser. (Longman)
「格安の」
- (19) a keen price (College)
「熱心な・熱望している」
- (20) She is really keen on going swimming.
(Random)

3語それぞれが、これらの意味の用法を持っているかどうかを、7つの辞書の記述から比較してみると、Table 1 のようになる。(○は用法があることを、×は用法がないことを示す。) Table 1 から、3語の類似点、相違点について考えてみよう。まず、3語とも、「感覚器官が鋭い」、「知性が鋭い」、「ぬけめない」など感覚そのものが鋭いという意味と、「とがった」、「音が甲高い」、「痛みが激しい」など感覚器官に与えられる刺激が強いという意味の両方を持っている。さらに、刺激の強さがやや抽象化されて、単に程度や度合いが強いという意味を持つという点でも共通している。

これに対し、相違点を探るために、3語のうち他の2語にはなくて、そのみが持っている意味に注目してみることにした。取り出してみると、次のようになる。

Table 1 Comparison of meanings of 'acute', 'keen', and 'sharp' in dictionaries

辞書の訳語 (意味)	acute	keen	sharp
感覚器官が鋭い	○	○	○
知性が鋭い	○	○	○
ぬけめない	○	○	○
とがった	○	○	○
カーブや坂が急な	×	×	○
くっきりした	×	×	○
光が強い	×	○	○
音が甲高い	○	○	○
においが鼻を突く	×	○	○
味がピリッとした	×	×	○
寒さが刺すような	×	○	○
痛みが激しい	○	○	○
程度・度合いが激しい	○	○	○
相手に対して辛辣な	○	○	○
急性の・緊急の	○	×	×
きびきびした	×	×	○
すてきな・すぐれた	×	○	○
いきな・しゃれた	×	×	○
格安の	×	○	×
熱心な・熱望している	×	○	×

- (21) ① sharp のみが、「カーブや坂が急な」、「くっきりした」、「味がピリッとした」、「きびきびした」、「いきな・しゃれた」の意味を持っている。
- ② acute のみが、「急性の・緊急の」の意味を持っている。
- ③ keen のみが、「格安の」、「熱心な・熱望している」の意味を持っている。

(21)から3語の意味の違いについて推測してみよう。①から、sharp は「カーブや坂が急な」、「くっきりした」、「きびきびした」、「いきな・しゃれた」など、直接視覚にとらえた刺激に対して使うことが予想される。また「味がピリッとした」という意味もあるが、舌で味わうということも、かなり直接的で強い感覚である。以上から、sharp は直接的で強い刺激の意味合いがあると推測される。また、②と③の対比から、同じく強い刺激でも、acute は緊急性、すなわち重大で深刻であるというマイナスのイメージが強いのにに対し、keen は肯定的なプラスのイメージが強いのではないかとということが予想される。以上

のような予測については、3の実例からの考察で、さらに検討してみる。

最後に、7つの辞書のうち、Progressive と Random には、3語の意味の違いについての記述が載っていたので、紹介しておこう。

(22) Progressive

sharp:知的鋭さ、時に抜け目のなさ

keen:観察的にすぐれている

Random

sharp: 知的鋭さ、特に抜け目のなさ

keen:観察眼が鋭く、明敏で、迫力がある

acute:keen に感受性と識別力が加わった明敏

英語類語用法事典¹¹⁾にも記述が載っていた。

(23) acute:感覚や知覚の鋭さを意味する。

keen: 鋭敏さと洞察力を含意する。

sharp: たやすく突き通したり、または切ったりできる物にあてはまる。比喩的に「りこうさ」を暗示する。

残念ながら、(22)と(23)には、共通した指摘は見当たらない。

3 実例からの考察

2の考察を踏まえて、実例からさらに考察してみる。実例は新聞(The Japan Times 以下 J.T.)や論説などから acute を51例、keen を50例、sharp を52例収集した。

まず、収集した用例を、Table 1の枠組に従って分類集計し、3語において、それぞれの意味がどれくらいの頻度で使用されるのか、傾向を探ってみることにした。結果は、Table 2のようになった。残念ながら、Table 1の項目の中で、実例が見つからない項目もかなりあった。辞書の記述において、少なくとも3語のうち1つには用法があるとされた「カーブや坂が急な」、「光が強い」、「においが鼻を突く」、「味がピリッとした」、「寒さが刺すような」、「きびきびした」、「すてきな・すぐれた」、「いきな・しゃれた」、「格安の」の実例は、皆無であった。また、辞書の記述において、3語全てに用法があるとされた「とがった」、「音が甲高い」、「痛みが激しい」、「相手に対して辛辣な」のうち、「音が甲高い」は3語とも用例は見つからず、「とがった」は keen と sharp のみに、「痛みが激しい」は acute のみに、「相手に対して辛辣な」は sharp のみに、用例が見つかった。

これらの項目以外は、辞書の記述通り、実例が見つかった。すなわち、

Table 2 Frequency of each meaning of 'acute', 'keen', and 'sharp' in actual uses

意味	acute	keen	sharp
感覚器官が鋭い	5	6	3
知性が鋭い	9	17	2
ぬけめない	3	1	1
とがった	0	2	6
カーブや坂が急な	0	0	0
くつきりした	0	0	15
光が強い	0	0	0
音が甲高い	0	0	0
においが鼻を突く	0	0	0
味がピリッとした	0	0	0
寒さが刺すような	0	0	0
痛みが激しい	2	0	0
程度・度合いが激しい	28	20	21
相手に対して辛辣な	0	0	4
急性の・緊急の	4	0	0
きびきびした	0	0	0
すてきな・すぐれた	0	0	0
いきな・しゃれた	0	0	0
格安の	0	0	0
熱心な・熱望している	0	4	0
計	51	50	52

- (24) ① 「感覚器官が鋭い」、「知性が鋭い」、「ぬけめない」、「程度・度合いが激しい」は、辞書の記述通り、3語とも用例が見つかった。ただし、「知性が鋭い」の用例は keen と acute に多く、sharp は少ないという違いが目につく。
- ② 「くつきりした」の実例は、辞書の記述通り、sharp のみが見つかった。
- ③ 「急性の・緊急の」の実例は、辞書の記述通り、acute のみが見つかった。
- ④ 「熱心な・熱望している」の実例は、辞書の記述通り、keen のみが見つかった。

以下、意味の項目ごとに、代表例を挙げておこう。

<「感覚器官が鋭い」の代表例>

- (25) Dogs have been trained to detect bladder cancer by sniffing urine, using their acute sense of smell to identify a tiny but characteristic odor released by tumors, a

study published Saturday says.

(J.T. Sunday, September 26, 2004 p.1)

< 「知性が鋭い」の代表例 >

(26) The earliest Japanese literature shows a keen appreciation of the beauties of seascapes, mountains, and wooded dells, and today Japanese are avid visitors to renowned beauty spots, sometimes all but destroying them in their enthusiasm.

(Edwin O. Reischauer “The Japanese” 成美堂 (1980) p.10)

< 「ぬけめない」の代表例 >

(27) Italians are keen businessmen with centuries of experience. In the past, Italian merchants traveled to Africa and Asia, and brought back spices, silks, and precious stones.

(Joan McConnell “Understanding Europe” 金星堂 (1991) p.18)

< 「とがった」の代表例 >

(28) Franklin reasoned, rightly, that the lightning conductor would work best with a sharp end. This was disputed by some scientists, who argued for a rounded end, and the Royal Society in England had to arbitrate.

(Jacob Bronowski “The Ascent of Man” 金星堂 (1977) p.19)

< 「くっきりした」の代表例 >

(29) People with dark skin usually have dark eyes also. Dark brown eyes can get a sharper image of what they're looking at than light-colored eyes.

(Ashley Montagu “The Story of People” 金星堂 (1988) p.41)

< 「痛みが激しい」の代表例 >

(30) Only when patients were already undergoing such acute pain that even the agony of the operation might not be greater, and death was anyway the sole alternative, would the surgeon's knife and saw be called for.

(Jack Meadows “A Revolution in Life Sciences” 鶴見書店 (1992) p.33)

< 「程度・度合いが激しい」の代表例 >

(31) It was in 1619 that a Dutch merchantman

brought the first boatload of Negroes to Virginia. The new colony (it had been settled only twelve years earlier), like all the American Colonies for the next century and a half, was facing an acute labor shortage, and the habit of depending on Negro slaves to work in the tobacco fields caught on and spread.

(Henry S. Commager “The American People” 英潮社 (1971) p.7)

(32) The European Union has shown a keen interest in the North Korean situation from the outset. It has provided extensive humanitarian and technical assistance as well as food aid to the people of the North.

(J.T. Wednesday, March 12, 2003 p.20)

(33) The sharp decline in federal budget surpluses prompted powerful Democrats to announce last week that they will not support Bush's request for the additional Pentagon funding.

(J.T. Sunday, August 26, 2001 p.1)

< 「相手に対して辛辣な」の代表例 >

(34) The sharpest words came late Wednesday from Iraqi Vice President Taha Yassin Ramadan, who accused U.N. inspectors of being “spies” for the United States and Israel, and of staging the intrusion into a presidential palace Tuesday as a provocation that could lead to war.

(J.T. Saturday, December 7, 2002 p.1)

< 「急性の・緊急の」の代表例 >

(35) There was, I believe, a lavatory somewhere along the corridor, but only an attack of acute diarrhea would be accepted as an excuse for visiting it.

(Roald Dahl “BOY Tales of Childhood” 松柏社 (1988) p.49)

< 「熱心な・熱望している」の代表例 >

(36) France assumes the six-month rotating presidency of the European Union in July, and is keen to forge a common sense of purpose with its traditional partner.

(J.T. Tuesday, May 23, 2000 p.16)

次に、主に(24)から、3語の意味の違いについて考

察してみる。まず、(24)の①、②から、sharpは知性などの鋭さよりは、視覚的にとらえたような直接的な刺激に対して使う傾向が強いことが予想される。「とがった」の意味の用例もsharpが最も多く、この点に合致している。さらに、(24)の③、④から、実例においても「急性の・緊急の」の用例はacuteのみに、「熱心な・熱望している」の用例はkeenのみに見つかったということなので、(21)の②、③についての考察の通り、acuteは重大で深刻であるというマイナスのイメージが強いのに対し、keenは肯定的なプラスのイメージが強いということが予想される。この点について、収集した用例を点検してみた。収集した用例の中で、「重大性・深刻さ」の意味合いが強いものと、「肯定的」な意味合いが強いものを選び出して集計してみると、Table 3のようになった。acuteやsharpは、「程度・度合いが激しい」の意味のとき、修飾の対象として、problem, shortage, rise in crimesなど、深刻な問題が多かったのに対し、keenは主語自身が「熱心な・熱望している」の意味を持つ用法がある上に、さらに「程度・度合いが激しい」の意味のとき、修飾の対象として、interestやpleasureなど、肯定的な意味の名詞を取ることが多かった。acuteだけでなくsharpも「重大性・深刻さ」の意味合いが強いのは、「直接的な刺激」の激しさということと関連しているように思われる。代表例を挙げておこう。

(37) Living here has taught me that my master's land is much farther advanced into the new crisis of the modern age than mine is. Nowhere are the problems of industrial society more acute than here.

(William Mensendick "I am not a Japanese" 松柏社 (1994) p.99)

(38) Spurred by a spate of vicious crimes and a sharp rise in crimes by foreigners, the number of criminal offenses in Japan last year reached a record postwar high of 2,735,612 cases.

(J.T. Friday, October 11, 2002 p.18)

(39) South Korea's new president is not keen on military action, and North Korea is taking advantage of our preoccupation with Iraq to practice nuclear brinkmanship.

(J.T. Wednesday, March 19, 2003 p.16)

(40) I had no keener pleasure than in following

Table 3 Frequency of "serious" and "positive" in 'acute', 'keen', and 'sharp' in actual uses

意味	acute	keen	sharp
重大性・深刻さ	28	4	21
肯定的	0	20	0

Holmes in his professional investigations, and in admiring the rapid deductions, as swift as intuitions, and yet always founded on a logical basis, with which he unravelled the problems which were submitted to him.

(A. C. Doyle "The Speckled Band" 研究社 (1951) p.2)

4 まとめ

以上の考察を踏まえて、acute, keen, sharpの意味の違いについて試案を提出する。

(41) acute :理解や思考が細やかであること、また程度・度合いが激しく、重大・深刻であること

keen : 理解や思考が細やかであること、また関心・熱意など肯定的な面も含めて程度・度合いが激しいこと

sharp : 形がとがっていたり、くつきりしているなど、直接的な刺激が激しいこと、また理解や思考が細やかであること

参考文献

- 1) 鳥居孝栄 : completely, perfectly, thoroughly の対照意味分析, 全国高等専門学校英語教育学会研究論集, 24, pp. 117-126 (2005)
- 2) 鳥居孝栄 : anxiety, concern, worry の対照意味分析, 福島高専研究紀要, 52, pp. 37-41 (2011)
- 3) 鳥居孝栄 : flourish, prosper, thrive の対照意味分析, 福島高専研究紀要, 53, pp. 149-153 (2012)
- 4) Progressive English-Japanese Dictionary (小学館, 1987)
- 5) Random House English-Japanese Dictionary (小学館, 1994)
- 6) The New Global English-Japanese Dictionary (三省堂, 1994)
- 7) New College English-Japanese Dictionary (研

- 究社, 1994)
- 8) Genius English-Japanese Dictionary (大修館, 1994)
- 9) New Proceed English-Japanese Dictionary (ベネッセ, 1994)
- 10) Longman Dictionary of Contemporary English (桐原書店, 1987)
- 11) 河上道生監修、丸井晃二郎著: 英語類語用法事典 (大修館書店, 1992)